まごころだより

２０２３年　６号

“誕生会”

利用者は女性がほとんどですが、勿論男性もいます。誕生日祝いなんて、なんだかこっぱずかしいのですが、それでも祝って貰えるのは嬉しいものです。思いがけずお誕生日おめでとうと言われて、一瞬なんのこと？と戸惑う。そういえばそうだなと思いだして、人にお祝いしてもらっているのが急に嬉しくなり、顔もほころんでいい表情になります。

“お茶会”

毎度のことで大分慣れてきました。しかしそれでも緊張します。最近は緊張する事がほとんどなくなっていますが、改まって茶席の場にいるとちょっと緊張します。でもその緊張感が程よくいいのですよ。

“洗い場の手伝い”

食事の後のかたづけは、主婦にとって毎日やってきたことです。最近はその家事でさえしなくなり、家では退屈な時間が過ぎていきます。ここにやってきてタオル干しや食器洗いやおやつ作り等など色々なことをさせられますが、それはそれで楽しい事かも知れません。まだ自分にも出来る事がある。役に立てるのだと催促されなくても様子を見掛けたら自分の方からその場にやってこられます。私達は“助かりますありがとうございます”とそこから又楽しい会話が進み井戸端会議みたいになって楽しいのです。ただ感謝するばかりです。

“ゲーム遊び”

リハビリではありませんがゲームとかパズルなど頭や指先を使うような事をお勧めしています。最初は拒否されますが、何度かお誘いすると次第に夢中に取り組まれるようになります。勝ち負けや失敗は問題ではありません。複雑な決まりはなく簡単なルールでやりますから、精神的に負担になるようなことはありません。その遊びの中で会話も生まれ、笑いのある時間になります。

“何して遊ぼう”

午後から小さな子供たちがやってきます。きちんと手を洗ってからおやつを食べて後は自由に遊びだします。利用を開始した時は、違う環境で不安になり泣き出してしまう日が続きましたが、慣れるに従い施設内を自由に動き回るようになりました。ここでは決まりきった事はさせていません。保育園で指導を受けて疲れているだろうと思って、なるべく自分の思う通りに過ごしてくれたらいいと思います。それぞれの性格が上手く折り重なって仲良く遊んでいる姿は、最初に泣き叫んでいた事など想像も出来ないくらいに自由です。